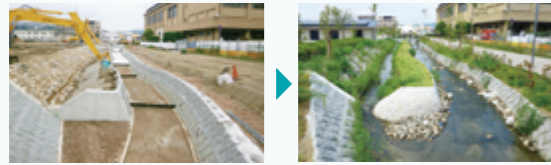


22年7月
土地区画整理事業の決定

23年7月
せせらぎ遊歩道ワークショップを開催
同ワークショップなど、今までに計36回開催。延べ約900人の市民の皆さんと一緒に、公園の使い方の検討や整備を進めてきました。その中で、「ホテルを復活させよう」というアイデアが生まれ、環境に配慮しながら、せせらぎの整備が進みました



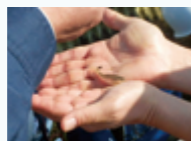
25年4月
公募でまちの愛称が「キセラ川西」に決定

「キ」は輝きや希望、「セ」はまちを象徴するせせらぎ、「ラ」は都(洛)を表現



28年11月
お魚救出大作戦を開催

仮設の水路からせせらぎ本線への切り替えに伴い、水生生物の引越しをしました



29年1月
エドヒガンと台場クヌギを移植

キセラ川西まちづくり大使でプラントハンターの西島清順さん監修で、黒川から移植しました

4月
せせらぎ遊歩道南線の供用開始

南線の全長は380m。水生生物の観察会などを開催

7月
豊川橋山手線の供用開始

無電柱化により、景観に配慮しました

7月
キセラ川西せせらぎ公園がオープン

オープニングフェスタには約3,000人が来場



キセラ川西せせらぎ公園の位置図



【アクセス】
電車の場合：阪急・能勢電鉄「川西能勢口」駅から北へ徒歩約8分。または、能勢電鉄「網延橋」駅から西へ徒歩約5分。
バスの場合：阪急バス「火打2丁目」停留所から南へ徒歩約1分。または、「勝福寺前」停留所から東へ徒歩約5分。
※公園に駐車場はありません。公共交通機関を利用してください。



東側から見たキセラ川西せせらぎ公園



特集 みんなと一緒に成長していく場所 新しい公園の形

キセラ川西
せせらぎ公園が誕生

今年7月、整備が進む「キセラ川西」に新しく「キセラ川西せせらぎ公園」がオープンしました。「多くの人が愛着を持ち、市民の皆さんと共に成長する」をコンセプトに整備が進められてきた同公園。遊び方や使い方は、訪れる人の数だけあります。今はまだ、場所が完成しただけ。公園の形をつくるのはあなたです。

問合せ 地区整備課 ☎(740)1207

市民と一緒に つくり上げた公園

まちのシンボルが誕生
キセラ川西せせらぎ公園

あんばい
をまち
かわらし

維持管理まで一括して行っています。
皆さんの意見を取り入れた今まではない公園をめざして、23年度にせせらぎ遊歩道の設計ワークショップを開催。これを皮切りに、多くの市民と整備事業者、行政の3者で話し合いを重ねながら、公園づくりを進めてきました。
公園の使い方を制限するルールはほとんどありません。市民の皆さん次第で、どこまでも広がります。
それぞれが思い描く「こんなふうに公園を使いたい」といった思いを形にできるのです。
また、活発な利活用を進めて、公園を盛り上げていくことは、市内だけでなく、市外から多くの人が来るきっかけにもなり、まちにぎわいを生み出すことが期待されます。
多様な活動を可能とする新しい公園「キセラ川西せせらぎ公園」。
あなたも新しい形の公園と一緒に盛り上げていきませんか。

広がる、活動の可能性

市民の皆さんの多様な使い方を実現するために作られた「活用ガイドライン」。試行期間を設け、今後の活動の実情に合わせてものに改訂する予定です。ここでは、ガイドラインの説明と、公園を拠点に活動を始めている2組の団体に話を聞き、公園の具体的な活用方法を探ります。

キ セラ川西せせらぎ公園がオープンし、これから本格的な運用が始まります。

皆さんが公園を使う際の指針となるよう作成されたのが、「活用ガイドライン」です。このガイドラインは、本来、条例により公園で禁止されている事項を、許可を得ることのできるようにするためのもの。学識経験者と関連団体、行政で構成されている「キセラ川西エコマチ協議会みどり部会」で話し合いを重ね、作成しました。

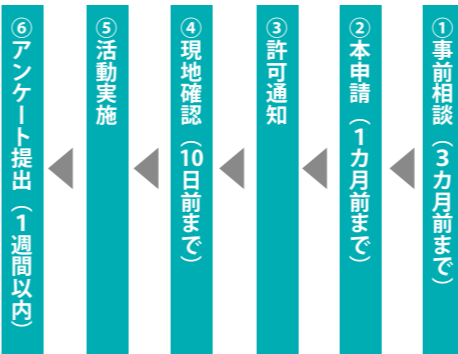
ガ イドラインは、30年8月31日まで1年間の試行版。試行期間の成果を踏まえ、実際の利用状況に合わせて、より使いやすいガイドラインへと改訂する予定です。

公園を占有する、火気を使用するなど、危険・迷惑行為に対しては一定の禁止事項があるものの、イベント活用など実施の流れ（下図）に沿って許可を得れば、ほとんど実現可能になります。

フ リーマーケットや、食のイベントなどで商品を販売する行為、商業活動として写真や映画の撮影をする

こと、コンサートや映画の上映といった有料の催しを行うこともできます。公園を使って何かしてみたいと思ったら、まずは地区整備課 ☎(740) 1207へ相談してください。さまざまな使い方を実現させながら、市民の皆さんと共に成長する公園をめざします。

イベント活用など実施の流れ



せせらぎで生物を観察 遊びながら学べます

ホテル復活プロジェクトチーム
田村 幹夫さん

せ せらぎ遊歩道に、5年後にはホテルが飛んでいるかもしれないよ」そう話すのは、「ホテル復活プロジェクトチーム」の田村幹夫さん。同チームでは、2カ月に1回のペースで、水生生物の観察や清掃といった活動をしています。

「現在のメンバーは約20人。小学生から仕事を定年退職した人まで、幅広い世代がいます。オープンして間もないですが、多様な生物を観察できますよ」農業用水路を利用して作られた遊歩道のせせらぎ。かつてこの場所にいたホテルを復活させるため、市や事業者と



話し合いながら、環境を整えてきたと田村さん。「毎回家族で積極的に参加してくれているメンバーの子どもが、ホテルの幼虫を見つけてきたんです。驚きましたね。今は一匹だけでしたが、確実に水生生物がすみ着いてきたんだと思います。少しずつホテルがすめる環境を整えながら、四季を感じられるのも魅力ですね」子どもたちが遊びながら学習できる場所にしたいと田村さんは話します。「楽しみながら学ぶためにも、何か目標を持って観察会に参加してもらえればと思います。今後は、せせらぎを守るグループが増えればうれしいですね」



キセラカフェ

みんなが主体となり 公園の使い方を考える場所

公園で活動するグループの形成を支援する「市民プログラムワークショップ」に代わり、今年度から始まった「キセラカフェ」。公園でしたいことのアイディア出しや公園をどう盛り上げていくかについて、お茶をしながら和気あいあいと話合っています。

今回は9月30日(土)に、キセラ川西せせらぎ公園で開催予定(7ページ参照)。公園のことをもっと知りたい人や何かやってみようという人など、誰でも気軽に参加できます。申し込み不要なので、ぜひご参加ください。



総面積約2.6%。シンボルツリーのエドヒガンが来園者を出迎える「エントランスエリア」。日本一といわれる黒川の里山を再現した「里庭エリア」。健康器具や複合遊具を設置した「ウェルネスエリア」。ステージが設置された「芝生エリア」。小川が流れる「せせらぎ遊歩道」の5つのエリアで構成されています。

市民の声でつくった公園だから プレーパークが実現しました

キセラ川西プレーパークの会
久枝 恵子さん・里佳子さん

プ レーパークとは、子どもが「やってみよう」を応援する遊び場のことです。おとなは危険がないよう、見守るだけ。許可を取れば、水が使えたり、木工ができたり。市民の声を反映させてつくった公園だから実現しました」 「キセラ川西プレーパークの会」の久枝恵子さん(写真右)。娘の里佳子さん(左)と、親子で活動しています。プレーパークでは、異年齢間で交流できるのが魅力と恵子さんは話します。「学校では、他学年と対等な立場で接する機会がありません。でも、気



が合う友達は年齢が上かもしれないし、下かもしれないですね。親も世代がさまざまなので、子育ての相談ができて助かっています。先日、小学生同士のけんかが起こったんですが、高校生の里佳子が入り、おとなという立場でなく、対等な目線で仲裁してくれました。気が済むまでけんかして、おとなが関与せずに解決できる。これも、プレーパークの良さですね」里佳子さんは、全力で子どもたちと遊びます。「何より、楽しいから参加しています。人と関わるのが苦手でしたが、少しは得意になったかな(笑)。お母さんと話す機会も増えたから良かったと思います」

キセラ川西せせらぎ公園での催しが熱い 注目のイベントが続々

9月3日 ㊤ 午前10時—午後5時半

エントランス・芝生エリア HYOGO 彩りフェスタ

主 催：きらっと☆阪神北オータムフェスタ実行委員会
・(公社)日本青年会議所兵庫ブロック協議会
内 容：阪神北5市町の文化、歴史、食、市民活動などの魅力をまとめて発信するイベント。県内各地のご当地グルメをはじめ、特産品の販売や地域活動団体の活動展示、子どもからおとなまで楽しめる体験コーナーなどを催します。その他にも、地元の若者によるダンスや吹奏楽、バンド演奏、ET-KINGによる特別ステージも開催。会場へは、公共交通機関を利用してください。当日、阪急・能勢電鉄「川西能勢口」駅から無料シャトルバスの運行あり

問 合 せ：阪神北県民局 ☎0797(83)3133

キセラ川西せせらぎ公園では、各エリアの特長を生かした催しが続々と開催される予定です。9月に参加できるイベントを紹介します。

9月24日 ㊤ 午前10時半—午後2時

里庭エリア キセラ川西プレーパーク

主 催：キセラ川西プレーパークの会
内 容：子どもたちの「やってみたい」を応援する遊び場。出入り自由で参加費や申し込みは不要
問 合 せ：同会 ☎ kawanishiplaypark@gmail.com

9月30日 ㊤ 午後4時—6時

エントランス・芝生エリア キセラカフェ

主 催：キセラ川西市民プログラムワークショップ有志・市
内 容：公園について市民が考え、気軽に語り合う場です。出入り自由で、申し込み不要。参加費はお茶代の200円

問 合 せ：地区整備課 ☎(740)1207

来年には福祉・文化関連施設がオープン

キセラ川西のこれから 愛着が育まれる場所へ

整備が進む新しいまち
キセラ川西

市役所や総合体育館などが集まる中心市街地に位置する「キセラ川西」。
総面積は約22・9畝で、低炭素のまちづくりや民間活力の導入を柱にしています。
30年9月には、公民館などの機能が入った「福祉等施設」、11月には「文化関連施設」が供用開始予定。
「医療」「住宅」「集客」など多機能が連携する「次世代型複合都市」の実現に向け、整備が進んでいます。

防災機能も
兼ね備えた公園

同公園は、災害時の一時避難場所となる他、生活用水も確保できる地下貯留槽が設置されています。
いざというときには、隣接する総合体育館といった公共施設とも連携し、防災面でも活躍することが期待されています。
市民の憩い・活動の場と災害時の防災拠点としての場。2つの側面を併せ持つ公園なのです。

公園づくりに市民と団体が協力

下記の皆さんから、キセラ川西へ台場クヌギなどの寄贈がありました。
中谷雅英さん、美濃岡進さん、畑中隆さん、黒川自治会 ▶ 川西ロータリークラブ ▶ 溪の桜を守る会 ▶ 菊炭友の会 ▶ 独立行政法人水資源機構一庫ダム管理所 ▶ 国際ソロプチミスト川西 ▶ 大阪教育大学同窓会川西支部（順不同）

魅力的なまちを
共に育てる

オープンして間もない、キセラ川西せせらぎ公園。今はまだ場所が完成しただけです。
キセラ川西のまちを魅力的な場所へと育てていくためには、さらに愛着を持つてもらい、市民の皆さんが「自分の庭」として公園を活用することが第一歩となります。
同公園ではこれからさまざまな市民によるイベントが予定されています。まずは、公園に足を運んでみませんか。

芝生張り体験などを開催

市内の子どもたちも 公園づくりに参加

5月、キセラ川西せせらぎ公園の芝張りワークショップを開催し、市内の小学生や家族連れなどが参加。初夏の日差しの中で、みんなで協力しながら一生懸命芝のピースを張りました。

8月には、芝生エリアの供用開始に伴い養生杭を抜くイベントを開催。市内保育所の子どもたちや一般参加者など約40人が参加しました。

芝生エリアの広さは、約0.7畝。当初は9月にオープンする予定でしたが、予想よりも芝生の育ちが良かったため、1カ月前倒しでオープンしました。青々とした芝生のじゅうたんを誰よりも早く踏みしめた子どもたちは、追いかけてっこをしたり、ごろごろと寝転がったりして楽しそうに遊んでいました。



あんぱい
まをまち
かわはし

人と人がつながる公園へ 活動の輪が広がることを期待

地区整備課長
宮定 博文

市民の思いを生かした公園が完成

キセラ川西せせらぎ公園は、「多くの人々が愛着を持ち、市民の皆さんと共に成長する」をコンセプトに、設計から工事、完成後の活用方法まで市民ワークショップを開催して、多くの意見や提案などを頂きながら、整備を進めてきました。

皆さんの“思い”を少しでも生かそうと、何度も設計を変更したり、工事をストップしたりするなど、設計や工事に関わった人たちにも、ご協力いただきました。

市民の皆さんをはじめ、全ての関係者が一丸となって取り組み、ようやく7月にオープンすることができたことは大きな意義があると思います。

愛される居心地の良い場所へ

これまで市内にあった公園では条例などの制約があり、思うように使えないこともあったかもしれません。しかし、キセラ川西せせらぎ公園は、申請して許可を得れば、今までできなかった活動やイベントなどがで

きる場所です。

今では、この公園の特徴を生かし、子どもたちが自由に遊べる「プレーパーク」活動や、公園にあるせせらぎ遊歩道で「水生生物観察会」が行われるなど、市民の自主的な活動が行われ始めています。

また、参加者同士の交流や情報共有、新たな活動を模索するなど、人と人をつなぐプラットフォームである「キセラカフェ」が、2カ月に1回開催されています。

誰でも参加できますので、多くの人に、気軽に参加してほしいですね。

今後、活動の輪がもっと広がることで、この公園が愛され、皆さんにとって居心地の良い場所に成長していくことを期待しています。

